

山陰仏社会報

# Sō-Sō

[壮創]

第12号

山陰教区仏教壮年会連盟会報・第12号

【編集・発行】山陰教区仏教壮年会連盟事務局  
 〒690-0002 松江市大正町443-1(本願寺山陰教区内)  
 電話(0852)21-4747 FAX(0852)27-8351



第21回全国仏教壮年福岡大会

## 就任の挨拶

山陰教区仏教連盟 理事長 房安 薫

この度、浄土真宗本願寺派山陰教区仏教連盟理事長の職を拝命致しました。泉原前理事長はじめ、歴代の理事長方々のご尽力を思いますと微力ではありますが、精一杯努めさせていただきますので、よろしくお願い致します。

本山におきましては、六月に法統継承式が執行され、専如さまが、第二五代門主にご就任になりました。「法統継承に際しての消息」の中で、過去の反省と新しい御法義の伝え方についてお述べくださいました。私たち仏社会員の一人一人も、よくよく考えねばいけないところです。

現在本願寺派では「御同朋の社会をめざす運動」(実践運動)が推進されています。今でも、多くの不明者の捜索が続けられている東日本大震災、広島土石流災害、全国的には、異常気象による災害が多発しています。ボランティア

活動であったり、様々な支援活動が行われ、個人として、地域として「絆・支え合い・つながり」が取り上げられている今、「そとつながらる・ホッがつたわる」……、何て温かな響きでしょうか。仏教綱領にもありますように、社会との繋がりが、より大切になってくると思います。それぞれの仏教の中だけでなく、地域社会の方々との繋がりを大切にしながら、それぞれの家庭内での実践運動も、怠りなく進めて行ってほしいと思います。現在起きている事柄に目を向け、関心をもち、自分は何が出来るのか、組織としては何が出来ると考え、そういういった取り組みを、各寺院仏教の活性化につなげていきたいと思っております。

今後も教区仏教連盟活動に対して、皆様のより一層のご理解・ご協力をお願い致します。

# 新理事紹介



顧問  
泉原 省三



副理事長  
山根 出雲組  
猛



理事長  
房安 鳥取因幡組  
薫



副理事長  
福谷 川本組  
善彦



出雲南組  
吉井 傳



神門組  
本田 和政



松江組  
松井 邦夫



鳥取伯耆組  
島村 節夫



大田西組  
眞野 明政



大田中組  
毛利 敏則



大田東組  
下迫 紀弘



飯南組  
半田 眞道

邑智西組  
選考中



邑智東組  
岩戸 秀幸



千須賀組  
波多野祐康

佐波組  
選考中

鹿足組  
坪井 誠



三隅組  
江後 卓蔵



浜田組  
廣崎 勝美



江津組  
西尾 義弘

# 全国仏教壮年福岡大会に参加して

大田西組 龍蔵寺 泉原省三

福岡教区の高田理事長とは三年

間山陰教区を代表して全国の評議員会や研修会等でご一緒させてもらった仲である。折にふれて今回の第二十一回全国大会は福岡で開催するのでは是非足を運んでほしいと依頼を受けていたこともあり、早くから参加することを決めていた。

前日は博多駅周辺に宿をとり一人で淋しく酒も控え気味に夕食を食べて明日に備えた。

十月二十五日の大会当日は早めに国際会議場に着いたらもう山陰教区から房安理事長、中尾教務所長、担当の菅さんが見えていた。出雲南組の一行も同じころ到着されたので山陰勢は揃って会場へ入った。三千名以上収容する会場は熱気にあふれていた。全国の顔見知り仲間と思わず握手してお互い元気であった温もりを確かめ合った。私は連盟旗の旗手を引き受けていたので会場脇のロビーで説明や注意を受けながら出番を待つ

た。

やがて、六月に法統継承されたご門主様が入場され、開会式が始まった。重い連盟旗を掲げて山陰ここにありと壇上に進み、係の方に渡した瞬間深く息を飲み役目を終え安堵した。

そして事例発表、昼食に続いて記念行事や記念講演がすすめられた。

楽しみのひとつにしていた熊本教区佐々木高彰先生の節談説教が始まった。文字数の制限もあり内容を記すことは出来ないが、言葉に抑揚をつけて行う説教は平安末期から鎌倉時代にかけて始まったと伝えられている。江戸時代には民衆の娯楽となった一方、浪曲、講談、落語などの母体となったようである。現代の法話とは異なる珍しい節談説教を聞き、心ウキウキ帰路について。

合掌

## 平成二十六年総会に参加して

出雲組 宗玄寺

山根 猛

平成二十六年総会研修会は四月二十日(日)十時より会員八十四名が参加して山陰教堂で開催されました。

開会式に続いて午前中は総会が開催され、大田東組の下迫氏が議長となられ、初めに二十五年度の事業、収支決算が報告されて承認され、次に二十六年の活動方針を基に事業計画、予算案が審議され、スローガン、活動方針、重点項目、事業計画等、予算案と共に承認されました。

尚、事業計画では十月に福岡で開催される第二十一回全国仏教壮年大会に参加についての協議が注目されました。



引き続き今年度は任期が満了となるため役員改選が行われ、慎重に協議された結果、鳥取幡幡組願正寺仏社会の房安薫氏が理事長に選任されて(その他の役員についてはは壮創をご覧ください)総会は終了しました。

午後の研修は講師に昨年と同じ藤井邦麿先生に「御同朋の社会をめざそう」と題して、分かりやすいように小題に分けて講演を頂きました。

一、浄土真宗の寺院

いくたびも為凡をさきとして道場と名付けてこれをかまえ、本尊を安置したてまつるにこそあれ、これは行者集会の為なり(本願寺第三代宗主 覚如上人 「改邪鈔」)

二、お仏壇中心の生活

三、わたしの実践 そとつながる ホッがたわる

四、「阿弥陀の森」運動

元気な時や若い時には仏様は「ほっとけさま」となりがちです。仏法は聴聞にきわまると言われまじ。聴聞に目覚め朋友の輪を広げましょう。

昨年とは一味違ったお話で貴重な講演をいただきました。 合掌

## 中央研修に参加して

鳥取因幡組 光輪寺

谷口 真

二月二十一日(土)～二十二日(日)一泊二日の日程で中央研修会が開催され、ご縁に遇わせていただきました。今回は、東北宮城～九州鹿児島までの仏社会員四十一名の参加でありました。両日の研修と併せ、お晨朝もこの時期としては比較的暖かな気候に恵まれ天候の様子を心配することのない研修日程でありました。

初日は、浄土真宗の教義についての講義。仏教壮年会に求められるものと題した講義に続き、班別の話し合いが行われました。五班に分かれ、一班八名平均とし私は四班に入り、書記と発表を仰せつかりました。

話し合いのテーマは、「人生の中で念仏をするか、念仏の中で人生を過ごすか」であります。もちろん班で意見をまとめる、結論を出すことの困難なテーマでありま

す。自らの生活の様子を出し合い、出た意見をそのまま発表下さいとの事前申し合せに書記・発表の私の心も少し気を落ち着かせペンを走らせました。

私の集落は、浄土真宗の方のみの集落ではありませんので、友引など俗信を気にして生活をされる方もあります。私も葬儀等で集落のお世話になる事が起きた立場には、集落の一部の方の意見に従う事になるやもしれませんから、そう思うと、念仏の中で人生を送っている「つもり」が、現実世間体は左右される日暮しである旨述べたような次第です。

家族で食事の言葉を実践しておられる方、「子どもの頃、父が炭鉱で働いており、『炭鉱の中は地獄だ、念仏申さずには生活できん』と父は言っていた。」と話される方、多くの実践活動をお聞かせいただきました。

壮年会に、単に人を集めようとしていた考えから、自らの実践を見直すことへの大切さを学んだ研修会でありました。 合掌

## 単位会結成に向けた研修会に参加して

山陰教区仏壮連盟 理事長 房安 薫

第四連区の行事として「寺院仏壮結成に向けた研修会」が九月六日備後教区内福山市の「アールセ」を会場として開催された。連区内の各理事長方と共に参加し、九時三十分受付十時から開会式を行い、研修会が始まった。

多くは会員として現に活動している方であったが、未結成寺院のご住職や門徒の方々を含め、八十名に近い参加者での研修会であった。開会式後、この研修会の趣旨説明、その後の活動事例報告等の話があり、未結成寺院のご住職方や門徒の方々がどう聞かれたのか、成程なるほどと思われるのか、結成に向けて少しでも前向きに考えてほしいものだと感じながら聞いていた。

仏壮連盟講師谷間徹誠師の質問提議があり、「本当の豊かさとは」「全員聞法・全員伝道の思いで」、又現在自坊で取組まれ

ている事例等まじえてお話を頂いた。出会の数が増える事は、私にとっても本当に楽しみであり、嬉しい事でもある。未結成寺院の方々にも、結成に向けての機縁としてほしいと思った。

その後昼食を挟はさんでの班別討議が一時半程あったが、現仏社会員の方からも、未結成寺院の門徒さんからも色々な意見が出され、どなたからも寺院としての現状であったり、現会員の方の後継者不足のお話であったりと、切実な意見が多くあった。

多くの人が切迫した状況になって初めて思いを抱く事であろう「どうしたら」とか、「何で私か」という事を、少しでも多くの方と話をし、そうだったねと頷うなずける場としての仏壮を上げてほしい。今後の寺院存続の為に、ご住職方々にも考えてほしいと思った研修会であった。

ブロック研修会報告

鳥取ブロック研修会に参加して

鳥取伯耆組 勝福寺 石原 弘

去る九月二十八日、東伯郡湯梨浜町の安養山勝福寺において、平成二十六年山陰教区仏壯連盟鳥取ブロック研修会が開催されました。当日は、さわやかな秋晴れにも恵まれ、鳥取県内の十二ヶ寺の壮年会の方々に御参加いただきました。

壮年会結成以来、初めての会所を担当するにあたって、勝手にわからないことも多く、何度も準備会を経てようやく開催日となりました。勝福寺は村中にあり、慣れない方は迷いやすいため、受け付け開始から心配しておりましたが、どなたもが早め早めに到着され、安堵いたしました。

予定より十分繰り上げての開始となり、仏壯連盟会長、組長の挨拶と進行し、続いて各参加寺仏壯の紹介となりました。地元の湯梨浜町を含め、地域の運動会と日取りが重なってしまったという声が多かったようです。このあたりの配慮が足らなかつたと反省してお



ります。

この度のご講師は、山陰教区仏壯連盟会長の中尾了信氏をお招きし、「私の実践運動」をテーマにお話を賜りました。「御同朋の社会をめざす運動」の総合基本計画の詳細やねらい、それから御自坊のある滋賀教区の運動を例にして、お寺や社会が直面している問題について提起していただきました。お寺は何が出来るのか、地域に貢

献出来るような活動とは何か、そのためにまず私自身が何をすべきか、あらためて考えさせられました。

午後には、各班に分かれて分散会を行い、各寺院仏壯の活動内容や、現状の問題点、今後の仏壯の在り方について、意見を交換しました。他のお寺での活動を聞くに

出雲ブロック研修会に寄せて

松江組 順光寺 松井邦夫

去る平成二十六年十月十八日山陰教堂に於いて、山陰教区仏教壮年会連盟出雲ブロック研修会を開

つけ、私共ももっと精進せねばと決意を新たにしました。今回、研修会を開催するにあたり、御院家さんや坊守さん、仏教婦人会、壮年会会員の方々に御協力いただいたことを感謝申し上げます。この度の研修会が有意義なものになるよう、今後の仏壯活動に活かしていきたいと思ひます。



催致しました。中尾了信師、高野顕信師の挨拶に始まり、中尾講師のもとで、「仏壮会員として実践運動にどう取り組むか」のテーマで、参加者四十五名をランダムに四班に分け、各班毎熱の入ったディスカッションを行い、各班毎の代表の発表がありました。発表者は、自らの属する寺での活動報告が中心の話でした。何時もお寺の行事に参加するのは、仏婦会を中心とした顔見知りの方々が大半ではないでしょうか？ 何故若い人達が来寺しないのでしょうか？ 今日の家族構成もあります。若い世代は仕事にかまけての寺離れを、如何に防ぐかが肝要です。それには

発想の転換が必要と思われる。持論ですが、疎になつてゐる檀家には、故人の命日頃に連絡をとり、寺側の方から訪問するのは如何でしょうか？ 檀家にとっては、嬉しい事には違ひないと思ひます。これに依り檀家とのコミュニケーションが図られ疎から密に又家族構成等のマトリックスの作成が出来ると思われます。

先程ある番組で墓の不法投棄の報道がありました。仏教における時代観ともいへば釈迦滅後百年間は仏法の正しく伝わる「正法」といい、次の千年間は、形だけの仏法で「像法」といわれ、現代では「末法」といわれ、仏法が亡ぶといわれています。この逆風の時代こそ「疾風知勁草」の言葉の様に、私達仏社員は、寺の中心である総代会、平素最も活躍している仏婦会と協調し、次世代の人達へ繋ぐべく、又他拠点で頑張っておられる御同朋と『そつとつながる・ホッがつたわる』結ぶ絆から、広がる「縁へ」の総合テーマの下で頑張つていこうと思ひます。仏社会の永久の継続と発展を願ひます。南無阿弥陀佛。 合掌

山陰教区  
組別登録単位数

| 組名    | 単位数 |
|-------|-----|
| 鳥取因幡組 | 7   |
| 鳥取伯耆組 | 6   |
| 松江組   | 8   |
| 出雲組   | 9   |
| 神門組   | 9   |
| 出雲南組  | 10  |
| 飯南組   | 8   |
| 大田東組  | 7   |
| 大田中組  | 1   |
| 大田西組  | 3   |
| 佐波組   | 1   |
| 川本組   | 1   |
| 千須賀組  | 1   |
| 邑智東組  | 2   |
| 邑智西組  | 2   |
| 江津組   | 6   |
| 浜田組   | 5   |
| 三隅組   | 1   |
| 益田組   | 2   |
| 鹿足組   | 4   |
| 合計    | 93  |



十年通い詰めた「本山・宗門」でぼくが見聞したのは、門徒の前で「大手を振る」坊さんの姿や「門徒は出すばかりで得ること

が何もないお寺」という会議員の悲痛な声だった。さて、こんな「姿や声」の正体は、「坊さんの支配に門徒が服従」という坊さんと門徒を対立させる「いびつ」な関係であり、これが、お寺の活力を萎えさせた原因なんだ、とぼくは気づいた。そこでこの「関係」を乗り越え、お寺に活力を呼ぶため、中央で「仏壯」のひとり立ちと「御同朋の社会をめざす運動」の継承を実現。所属寺では「仏壯」を会員制へ、またお寺の運営母体を「門徒会」へ、さらに坊さんの法話を宗祖の「本願念仏の教え」へと変えてもらった。

シリーズ仏社紹介③

大田東組真浄寺仏社の紹介

真浄寺仏社社長 下迫紀弘

ぼくは、前住職に口説かれ真浄寺仏社の「万年会長」を仰せつかり、やがて「全国仏社協議」会長へと上り詰めた。そんなぼくが所属寺で今何をやってるか紹介する。

最近のテレビコマーシャルで電車の中でおばあさんがお念仏を。それを見てホッとした私でした。お念仏は、葬儀や法要としてお年寄りや死んだ人のためとか死に関わるものだと思われている方が多いのではないだろうか。昨年、父を看取りご浄土に送りました。今までは、漠然とした「死」でありましたが、身近な死により今、生かされていることに感謝し、お念仏の深いあじわいに気づかされたわたくしだ。

編集後記

平成二十六年度は役員改選が行われ新体制で臨んだ一年間でした。教区仏社が行いました活動にご協力とご参加いただきました多くのご同朋の皆様へ深く感謝いたします。この活動により多くの仏縁を頂いた方から「壮創」へご投稿を賜り厚くお礼を申し上げます。

最近のテレビコマーシャルで電車の中でおばあさんがお念仏を。それを見てホッとした私でした。お念仏は、葬儀や法要としてお年寄りや死んだ人のためとか死に関わるものだと思われている方が多いのではないだろうか。昨年、父を看取りご浄土に送りました。今までは、漠然とした「死」でありましたが、身近な死により今、生かされていることに感謝し、お念仏の深いあじわいに気づかされたわたくしだ。

仏社の活動を通じ、東西に長い教区は、東部と西部では、温度差があることに気づきました。豊かさの差なのか、過疎化が進んでいることが原因なのか、無住の寺院も増えていきます。「若いものがない」「壮年会は必要ない」。門徒さんの中に若い方は少ないかも知れませんがいらつしやるはずですよ。

御同朋の社会をめざす実践運動が取り組まれています。一寺院の活動ではかぎりがあります。組単位での課題解消の活動はどうでしょうか。現状、実態は、各地域の僧侶・住職さまがよくご存じのほずです。僧侶・住職様のご活動・ご活躍を期待しております。

(川本組 福合善彦) 合掌